

現状

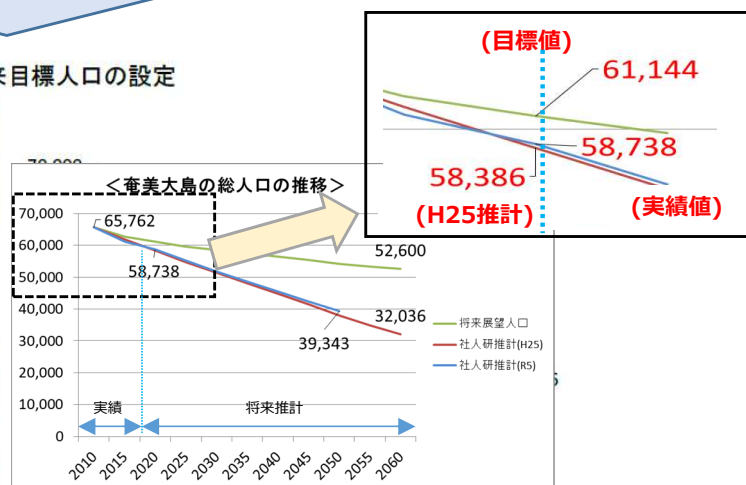
2010年の総人口65,762人の約8割程度を維持するとして、2060年の将来目標人口を52,600人と設定している。しかし、最新の将来推計人口では、2050年には39,343人になる見込みである。目標と現状では、大きな乖離があり、将来推計人口については設定の見直しをするか検討する必要がある。

4つの基本目標について、奄美大島5市町村が広域的に連携し、地方創生に関する施策を推進することで目標達成を目指す。

奄美大島における人口減少などの課題を解決するために、地方創生における4つの基本目標

- 安定した雇用の創出
- 新しいひとの流れをつくる
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

図表：奄美大島における将来目標人口の設定



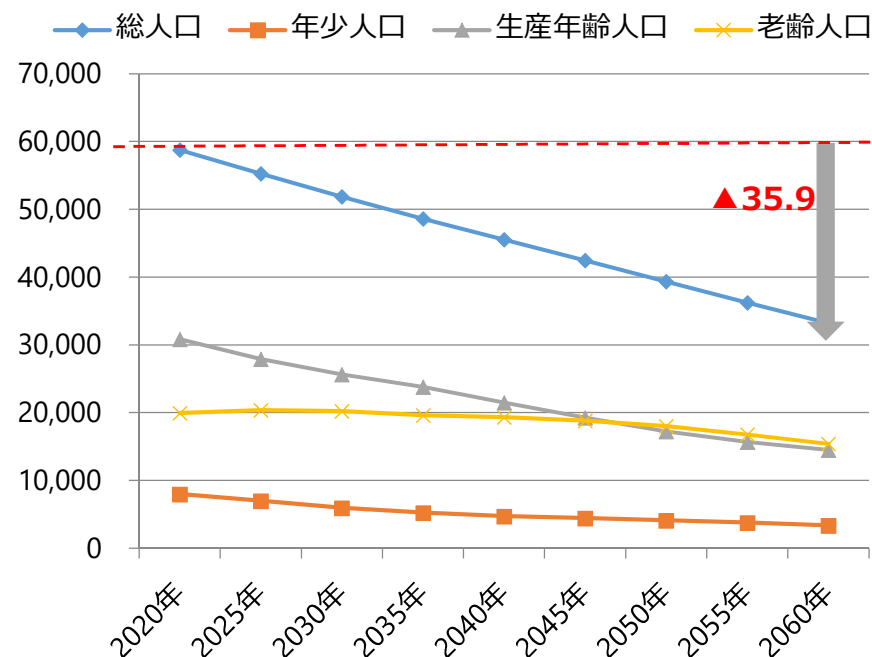
＜将来目標人口設定にあたっての前提条件＞

- 合計特殊出生率の目標値：奄美市 2.1 (1.83)、大和村 2.1 (1.78)、宇検村 2.3 (1.69)
瀬戸内町 2.2 (2.06)、龍郷町 2.3 (1.83) ※ () は現状値
- 転出抑制、目標転入の目標値
地元雇用の創出による転出抑制：156名/年
移住促進による目標転入：104名/年
・生産年齢人口：35名/年（うちチャレンジ世代：29名/年）
・家族（2～4人世帯）移住：24組/年

※1 奄美市36,400人、大和村1,400人、宇検村1,500人、瀬戸内町7,800人、龍郷町5,500人

出典：奄美大島人口ビジョンより抜粋

奄美大島の社人研推計(R5発表)



出典：国立社会保障・人口問題研究所

※2051年以降は各指標が一定で推移すると仮定して推計

奄美大島における将来目標人口の設定について

社会動態の現状

令和5年人口移動の結果によると、大和村と龍郷町では転入-転出はプラスになっているが、他の3市町村ではマイナスとなっている。また、奄美大島全体では、マイナス253人となっている、一方で東京圏からの移動についてはプラスになっている。

令和5年人口移動(外国人含む)

奄美大島	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	3,368	373	631	734	559	395	341	323	12
転入	3,115	396	234	793	598	391	354	336	13
増減	▲253	23	▲397	59	39	▲4	13	13	1

奄美市	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	2,358	272	448	489	409	290	245	204	1
転入	2,064	281	149	544	434	245	242	164	5
増減	▲294	9	▲299	55	25	▲45	▲3	▲40	4

大和村	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	56	11	5	14	3	5	8	3	7
転入	84	10	7	20	10	14	10	13	0
増減	28	▲1	2	6	7	9	2	10	▲7

宇検村	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	94	3	18	19	11	15	4	20	4
転入	93	7	7	25	8	14	5	23	4
増減	▲1	4	▲11	6	▲3	▲1	1	3	0

瀬戸内町	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	527	53	101	136	82	54	51	50	0
転入	503	57	43	125	86	69	51	69	3
増減	▲24	4	▲58	▲11	4	15	0	19	3

龍郷町	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
転出	333	34	59	76	54	31	33	46	0
転入	371	41	28	79	60	49	46	67	1
増減	38	7	▲31	3	6	18	13	21	1

転入	総数
総計	3,115
46 鹿児島県	1,657
201 鹿児島市	535
東京圏計	466
鹿児島県内その他市町村	473
県外その他地域（東京圏以外）	992

転出	総数
総計	3,368
46 鹿児島県	1,927
201 鹿児島市	709
東京圏計	405
鹿児島県内その他市町村	570
県外その他地域（東京圏以外）	1,036

転入－転出	総数
総計	▲253
46 鹿児島県	▲270
201 鹿児島市	▲174
東京圏計	61
鹿児島県内その他市町村	▲97
県外その他地域（東京圏以外）	▲44

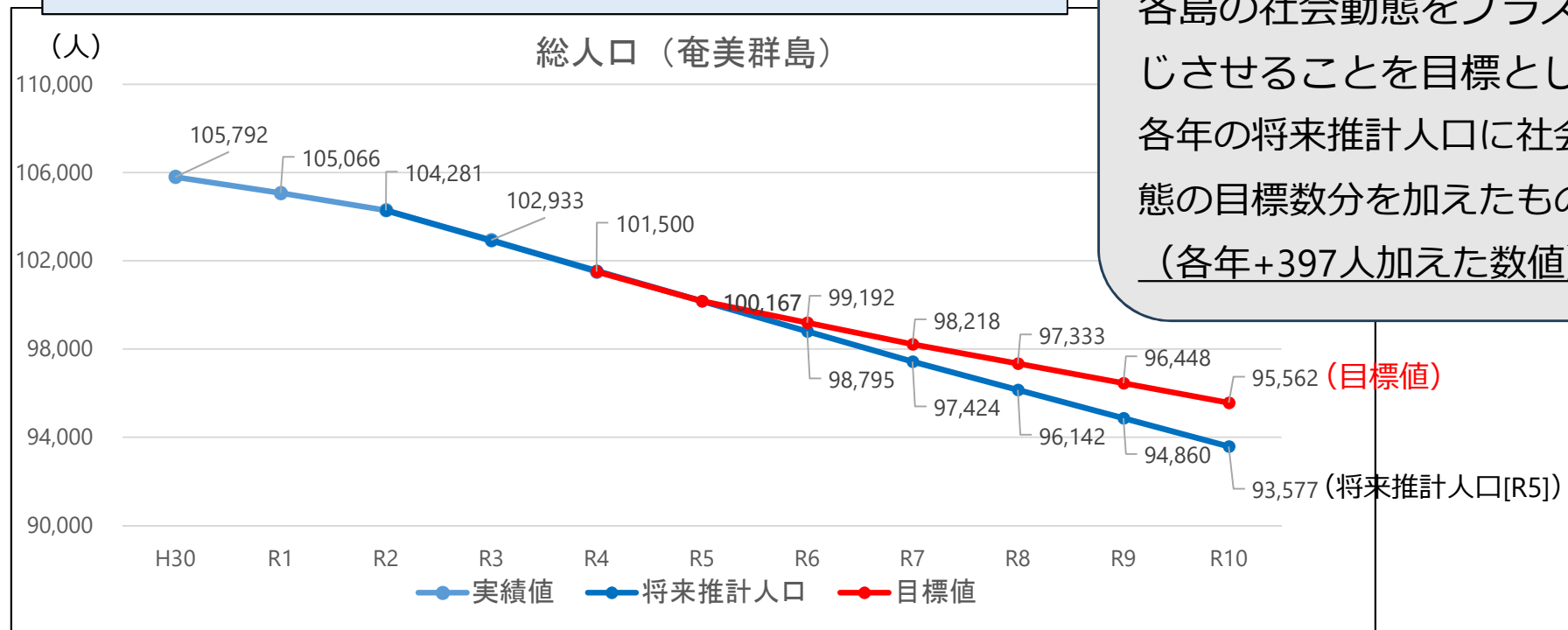
出典：総務省統計局 市町村別人口移動

奄美大島における将来目標人口の設定について

参考

「奄美群島成長戦略ビジョン2033 基本計画・実施計画(前期)」では、社会動態の目標値を設定している。

奄美群島成長戦略ビジョン2033 基本計画・実施計画(前期)



【目標値の考え方】

各島の社会動態をプラスに転じさせることを目標とし、各年の将来推計人口に社会動態の目標数分を加えたもの
(各年+397人加えた数値)

	H30	R4	R10
実績および目標値(人)	105,972	101,500	【目標値】 95,562

【データ出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(R5発表)
鹿児島県推計人口、国勢調査

奄美大島における将来目標人口の設定について

見直し案(社会動態反映)

「奄美群島成長戦略ビジョン2033 基本計画・実施計画(前期)」と整合性を図るため、社会動態についての考え方を同様とする。

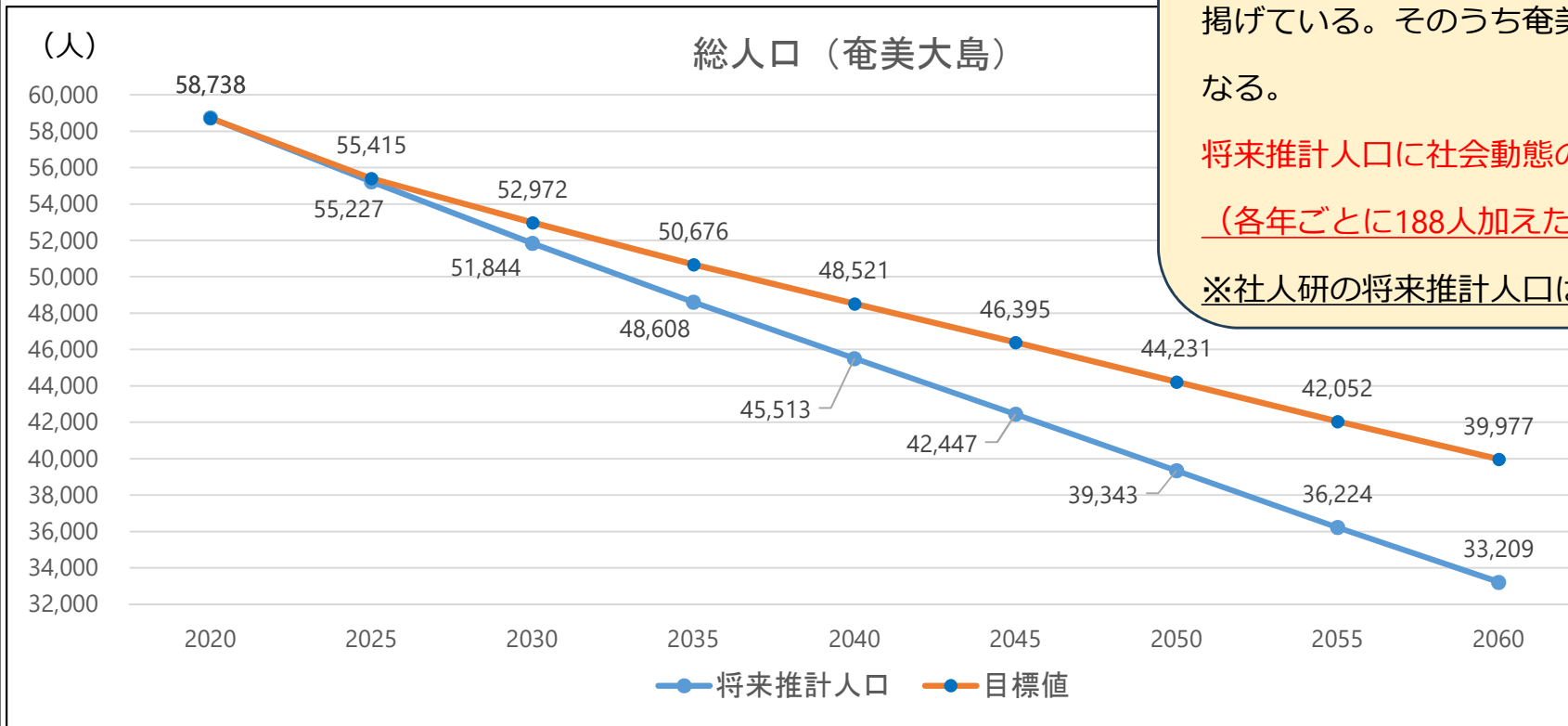
【目標値の考え方】

ビジョンでは奄美群島全体で年間397人の目標を掲げている。そのうち奄美大島だと年間188人となる。

将来推計人口に社会動態の目標数分を加える。

(各年ごとに188人加えた数値)

※社人研の将来推計人口は2050年まで



【データ出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(R5発表)

※2051年以降は各指標が一定で推移すると仮定して推計

鹿児島県推計人口、国勢調査

奄美大島における将来目標人口の設定について

自然動態の現状

人口ビジョンでは、社会動態に加え自然動態についても考慮する。自然動態の現状は5市町村でマイナスとなっており、奄美大島全体でマイナス550人となっている。

※現在の合計特殊出生率の目標値

奄美市2.1 大和村2.1 宇検村2.3 瀬戸内町2.2
龍郷町2.3

合計特殊出生率の推移

	平成25年～ 平成29年 2013－2017	平成30年～ 令和4年 2018－2022
鹿児島県	1.68	1.62
鹿児島市	1.51	1.50
奄美市	1.88	1.75
大和村	1.83	1.85
宇検村	1.90	1.77
瀬戸内町	1.92	1.82
龍郷町	2.13	1.82

出典：厚生労働省 人口動態保健所・市町村別統計

5市町村の自然動態推移

出生	暦年	H29	H30	R1	R2	R3
	奄美市	341	309	274	292	285
	大和村	10	17	11	9	8
	宇検村	15	7	9	12	7
	瀬戸内町	55	66	67	68	56
	龍郷町	51	54	46	49	55
	奄美大島	472	453	407	430	411
死亡	暦年	H29	H30	R1	R2	R3
	奄美市	597	575	631	587	610
	大和村	29	38	27	33	34
	宇検村	32	45	32	31	30
	瀬戸内町	177	172	160	152	184
	龍郷町	108	107	104	83	103
	奄美大島	943	937	954	886	961
自然動態	暦年	H29	H30	R1	R2	R3
	奄美市	▲ 256	▲ 266	▲ 357	▲ 295	▲ 325
	大和村	▲ 19	▲ 21	▲ 16	▲ 24	▲ 26
	宇検村	▲ 17	▲ 38	▲ 23	▲ 19	▲ 23
	瀬戸内町	▲ 122	▲ 106	▲ 93	▲ 84	▲ 128
	龍郷町	▲ 57	▲ 53	▲ 58	▲ 34	▲ 48
	奄美大島	▲ 471	▲ 484	▲ 547	▲ 456	▲ 550

出典：奄美群島の概況



奄美大島における将来目標人口の設定について

見直し案(自然動態反映)

社会動態では奄美大島全体で年間188人の増加を目標とする。これを参考に自然動態での目標値を設定する。

【目標値の考え方】

社会動態では、奄美大島全体で年間188人増を目標とする。

↓

社会増のターゲット層は子育て世代（25～49歳までの男女）とする。

↓

現在の男女比率はほぼ 1 : 1 なので、女性の社会増目標値を94人とする。さらに年齢階級ごとの出生率をかけ、出生者数の増加目標（年間）を算定。

↓

将来推計人口に自然動態の目標数分を加える。
（各年ごとに8人加えた数値）

※社人研の将来推計人口は2050年まで

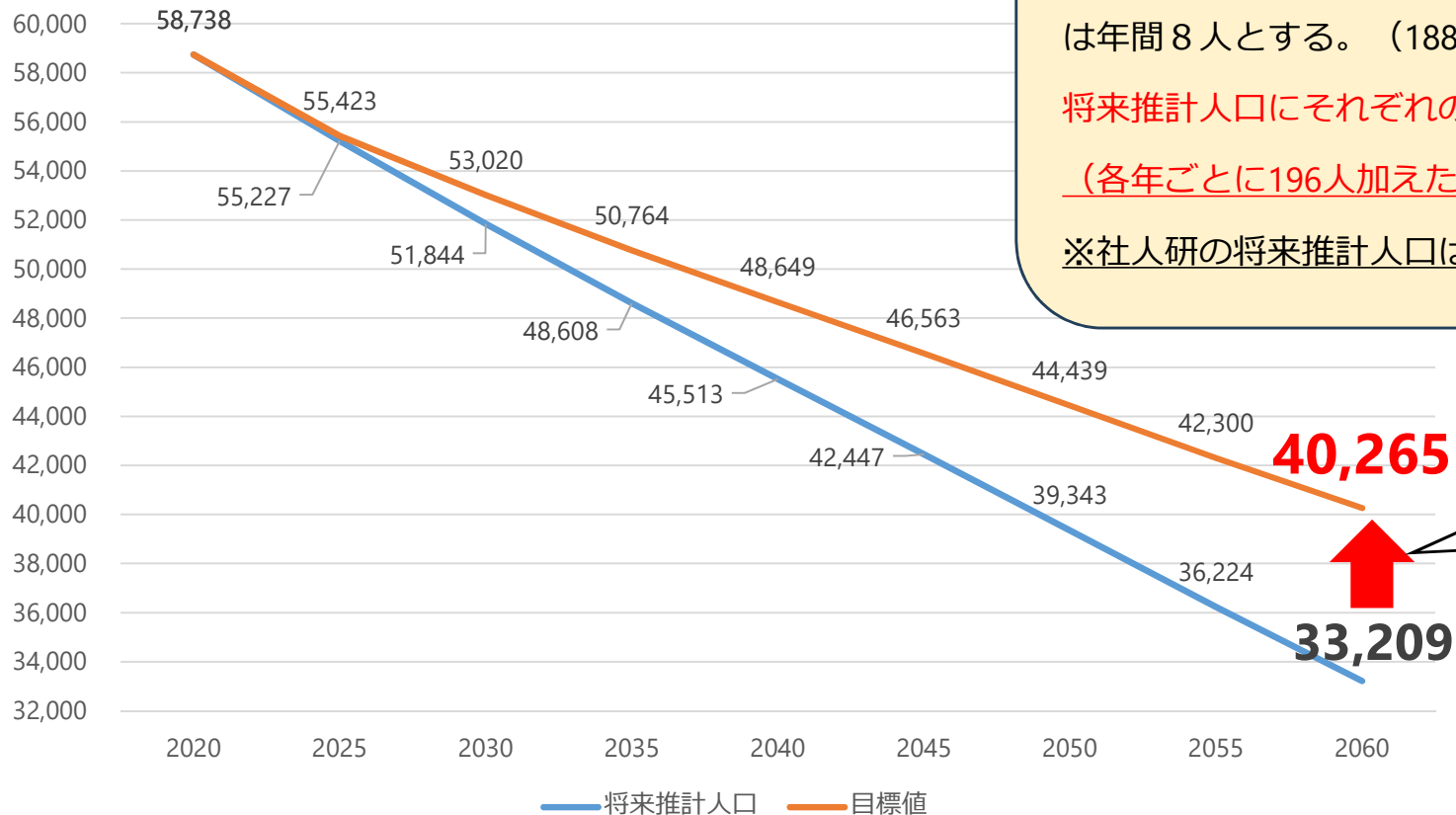
	女性の社会増目標値	年齢階級ごとの出生率	出生者数の増加目標
25～29歳	11	13%	2
30～34歳	15	13%	2
35～39歳	21	7%	2
40～44歳	23	2%	1
45～49歳	24	0%	1
計	94		8

奄美大島における将来目標人口の設定について

見直し案(社会動態・自然動態反映)

社会動態と自然動態の増加を踏まえた目標値を

総人口（奄美大島）



【目標値の考え方】

社会動態の目標値は年間188人、自然動態の目標値

は年間8人とする。(188人+8人=196人)

将来推計人口にそれぞれの目標数分を加える。

(各年ごとに196人加えた数値)

※社人研の将来推計人口は2050年まで

2060年の人口目標について「将来推計人口」を**7,056人**上回る目標とする。

【データ出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(R5発表)

※2051年以降は各指標が一定で推移すると仮定して推計

鹿児島県推計人口、国勢調査



目指すべき取組の方向(人口ビジョン40頁)

奄美大島の目指すべき取組の方向については、以下のとおりとし、これらの実現に向けて5市町村が総合戦略を策定する。

(1)社会動態をプラスにする！

地域住民やU I ターン者が住みたい、住み続けたいと思える社会を創る。

(具体的な施策の方向)

- ✓就業支援・住まいの確保
- ✓安心安全に生活するための定住環境の整備(医療や福祉,防災)
- ✓地域内経済循環を促進し,地域経済の「稼ぐ力」を高める
- ✓子どもたちのしまへの愛着を高める取組の推進

(2)子育て世代を増やす！

子育て世代が抱える悩みなどを解消し,子育てしやすい環境を整備する。

(具体的な施策の方向)

- ✓多様な働き方の推進
- ✓子ども・子育て世代に向けたサービスの充実(遊び場づくり,情報発信)
- ✓将来の子育ての不安解消に向けた取組

(3)出生数を増やす！

結婚の希望を実現できる社会を創るとともに,安心して子どもを産み育てることができる社会を創る。

(具体的な施策の方向)

- ✓出会いの場の創出
- ✓子どもをはぐくむ環境の確保・充実

(4)人口減少に対応したしまづくり

人口減少社会(総人口の減少と人口構成の変化)に対応したしまづくりに取り組む。

(具体的な施策の方向)

- ✓住民の生活水準を維持・向上させ,公共サービスの効率化
- ✓公共施設の再編とその活用策
- ✓デジタルの力を活用した社会課題解決